

進路写真撮影について

11月7日に最後の学力テストがあります。その後に【進路写真】を撮影することになっています。出願時に願書に貼る写真です。撮影にあたっては、「お願い！合格させてください！！私は高校生活をがんばります！！！」という気持ちが大切です。相手に見てもらおうための写真ですから、好印象を与えられるようにしっかりと身だしなみで臨みましょう。

さて、みなさんは『メラビアン』というものを聞いたことがあるでしょうか。アメリカの心理学者アルバート・メラビアンが提唱した法則で、「3Vの法則」や「7・38・55ルール」という呼ばれ方でも知られています。法則を導き出した実験自体は歴史あるものですが、プレゼンテーション能力が重要視される今の時代だからこそクローズアップされている法則です。目的としては、“矛盾したメッセージが発せられたとき（険しい顔または怒鳴りながら「楽しい」と言うなど）の、人の受け止め方”についてまとめたものだそうですが、受験生のみなさんの自己アピールに活用できる法則でもあります。

「他者に与える印象、コミュニケーションにおけるメッセージの伝達効果に関わる3つの要素」

要素	気を付けたいポイント	影響度	分類
視覚情報 (Visual)	髪型、表情、姿勢、服装、しぐさ など	55%	非言語コミュニケーション
聴覚情報 (Vocal)	声の質、大きさ、話す速さ、口調 など	38%	
言語情報 (Verbal)	言葉そのものの意味、会話の内容 など	7%	言語コミュニケーション

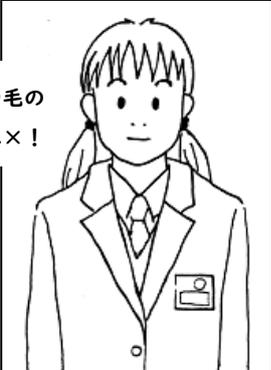
これによると「視覚情報」、「聴覚情報」が与える影響がかなり大きいこととなります。面接で考えると、話の内容の影響度は7%しかなく、非言語コミュニケーションである視覚・聴覚情報による影響度は93%にもなります。当然「言語情報」が重要なことには変わりありませんが、見た目を整えるだけでその8倍くらいの印象を与えられることとなります。進路写真では「視覚情報」しか伝えられませんが、それだけでも十分な好印象を与えることができます。ここからすでに入試は始まっています。ただ、撮影のときだけ身だしなみを整えればよいということではありません。趣味・趣向や生活習慣など、外見には内面がにじみ出るものです。常日頃から身だしなみを整え、入試に対する意識を高めて生活してほしいと思います。高校の先生方はみなさんの普段の様子を知りません。まずは第一印象で好印象をもってもらいましょう。下のポイントに注意して撮影に向けて準備をしてください。チャンスは1回きり！！



顔が隠れないように！

まゆ毛の加工×！

ポケットは空の状態！



チェックポイント

- 標準服
- シャツのボタン
- ネクタイ
- ベスト（女子）
- 名札
- 校章
- メイク×（色付きリップも！）
- 普段メガネの人はメガネ

※頭髪については下記参照

※頭髪に関する注意（化粧も含め、見た目で見易く目立とうとするのは心の未熟さアピールになってしまう…？）

整髪料は付けずナチュラルに。カラー写真なので脱色・染色はもちろんダメです。前髪は目の上、またはカッチリ分ける。髪が肩に付く場合は結ぶ。色付きのゴムやピンもダメです。過度な刈り上げや巻き髪、触角などオシャレ要素は厳禁です。誠実さが伝わるような髪型を普段から心がけましょう。